

第3学年 総合的な学習の時間 学習構想案

日 時 令和7年11月21日(金) 第5校時
 場 所 3年1組教室
 指導者 教諭 中西 万里

1 単元構想

単元名	自然災害から自分たちの身を守るには		
単元の目標	防災ブックを作り家族へ伝えることを通して、 (1)自然災害から身を守るための方法や行動の在り方などを知り、 (2)自分の住む地域の特徴や家庭状況などに応じたものとなるような、我が家の防災ブックの内容を考えるとともに、 (3)学んだことをこれからの自分や家族の防災行動に生かそうとする。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①自然災害から身を守るための様々な方法や行動の在り方があることを理解している。 ②我が家独自の防災ブックを作るためには、地域の特徴や家庭状況などに応じて考えなければならないことを理解している。 ③我が家の防災ブックや発表内容を作成するために調べたり、話を聞いたりして収集した情報の関係性について、図や文章などでまとめる方法が分かっている。	①自然災害時の被害の様子や避難行動の実際から課題を作りその解決に向けて自分にできることを考えている。 ②自分の住む地域の特徴や我が家の防災ブックに必要な情報を、手段を選択して多様な方法で収集している。 ③収集した情報から、我が家の防災ブックや発表に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。 ④伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。	①防災ブックを作る活動を通して、得た知識や自分と違う考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 ②課題解決の状況を振り返り、自然災害から身を守るために自分の住む地域や家庭環境などに応じた防災ブックとなるように内容を考えたり、家族によりよく伝えるために活動したりする等、課題の解決に向けてあきらめずに取り組もうとしている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
自然災害から身を守るための方法や行動の在り方などを知り、自分の住む地域の特徴や家庭状況などに応じた我が家の防災ブックの内容を考えるとともに、その防災ブックを家族へ伝える活動を通して、これからの自分や家族の防災行動に生かそうとする児童			
単元を通じた学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
自然災害から家族を守り隊大作戦		自然災害から身を守るための方法や行動について様々な視点から捉え、我が家の防災ブックの作成を通して、自分にできる防災行動について考え、自己の生き方を問うこと。	
指導計画と評価計画（15時間取扱い 本時 13/15）			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一次	2	○台風、土砂災害、水害、地震などの写真や資料などから、様々な気づきを出し合い、自らの学習課題を見付け、単元の学習課題を共有する。 ○各自の学習課題を出し合い、分類、整理することを通して、単元全体の学習計画を立てる。	★【思①】（ワークシート・発言・行動観察） ○自然災害時の被害の様子や避難行動の実際の様子を知ることを通して、自らの学習課題を考え、単元の学習課題を共有しようとしている。 ★【思①】（ワークシート・発言・行動観察） ○それぞれの学習課題を整理・分析して、その解決に向けて学習計画を考えている。
二次	9	○大雨の時の災害発生の様子や避難の方法などについて知る。（GT：防災WEST） ○地震発生のメカニズムや災害から身を守る方法などについて知る。（GT：東京海上日動） ○防災さるく（一勝地）に参加し、被害の実際についての講話を聞く。（GT：災害語り部） ○地域の方に災害時の話を聞く。（GT：地域の方） ○本やインターネット等で、自然災害から身を守るための方法や行動を具体的に調べる。 ○家族に聞き取りをする内容や防災チェックをする内容を考える。	★【知①】（ワークシート・発言・行動観察） ○地震発生時や大雨が降るとどんな自然災害がおきているのか、災害から身を守る方法や行動等を理解している。 ★【思②】（ワークシート・発言・行動観察） ○見学や講話の際に、インタビューの対象や場所の様子など、防災ブックに必要な情報を多様な方法で収集している。 ★【能①】（ワークシート・発言・行動観察） ○自然災害から身を守る方法や行動を調べる活動を通して、得た知識や自分と違う考えを生かしながら、協働して課題解決に取り組もうとしている。 ★【知②】（ワークシート・発言） ○我が家独自の防災ブックを作るために、地域の特

		<p>○我が家の防災ブックに書き入りたい我が家の3か条を決める。</p> <p>○「我が家の防災ブック」を完成させる。</p>	<p>徴や家庭状況に応じて考えなければならないことを理解し、家族への聞き取りの準備をしている。</p> <p>★【思③】（ワークシート・発言・行動観察）</p> <p>○収集した情報から、我が家の防災ブックに必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。</p> <p>★【態②】（ワークシート・発言・行動観察）</p> <p>○課題解決の状況を振り返り、自然災害から身を守るための自分自身の学習課題の解決に向けてあきらめずに取り組もうとしている。</p>
三次	4	<p>○家族へ伝えるための方法や内容を考える。</p> <p>○<u>発表会に向けて、GT などのアドバイス等をもとに、よりよい発表を目指す。【本時】</u></p> <p>○発表会を行い、家族への啓発を図る。（学年行事）</p> <p>○学習のまとめと振り返りを行う。</p>	<p>★【知③】（まとめ・行動観察）</p> <p>○防災ブックや発表内容を作るために調べたり、話を聞いたりして収集した情報の関係について、図や文章などでまとめる方法が分かっている。</p> <p>★【思③】（ワークシート・発言・行動観察）</p> <p>○友達や GT による質問やアドバイスなど、収集した情報から発表に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。</p> <p>★【思④】（まとめ・発言・行動観察）</p> <p>○伝える相手や目的に応じて、自分の考えをまとめ、適切な方法で表現している。</p>

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)				
<p>小学校学習指導要領第1の目標を受け設定された本校の総合的な学習の時間の目標「探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指す。」をもとに、目標を実現するにふさわしい探究活動及び探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を設定し、単元を構成している。</p>				
教材・題材の価値				
<p>本教材は、自分や家族の身を守るための方法や行動の在り方などを学び、地域や家庭状況に応じた我が家の防災ブックを作成し、家族へ伝える活動を通して、自己の生き方について考えることに適している。もしも自然災害が起こった際に、どのような方法でどのような行動をすれば自分たちの身を守ることができるのか、様々な視点での学びや体験から、我が家独自の防災ブックを作成し、これからの防災行動に生かそうとする素質・能力を育成することに適している。</p>				
本単元における系統				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 2年 学級活動 「ひなんくんれんをふりかえろう」 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 3年 総合的な学習の時間 「自然災害から自分たちの身を守るには」 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 4年 総合的な学習の時間 「もしものときにそなえよう」① </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 5年 総合的な学習の時間 「もしものときにそなえよう」② </div> </div>				
児童の実態（単元の目標につながる学びの実態）				
<p>■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況(人) (児童数：18人)</p>				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
自分で課題を見つけて、設定することはできますか。	2	9	4	3
本やインターネット、見学やインタビュー等で情報を集めることはできますか。	7	6	4	1
集めた情報を整理・分析したりして、考えを表現することができますか。	1	10	4	3
学んだことを現在やこれからの自分の生き方につなげて考えていますか。	4	6	7	1
<p>■本単元の学習に関する意識の状況(人)</p>				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
地震や土砂災害、水害などの自然災害は、自分にとって身近な問題だと思いますか。	6	5	4	3
自分や家族の身を守るために、自分ができることを考えていますか。	4	8	3	3
自然災害から身を守る方法や行動の仕方を知っていますか。	5	6	4	3
*身を守る方法や行動…早めに避難する。高いところに逃げる。ダンゴムシの姿勢。頭を守る。「おかしもち」の合言葉。など				
自分の家では自然災害にそなえて、何か準備をしたり話し合ったりしていますか。	3	3	5	7
*備え・・・防災バッグ、非常食や水の準備、靴やスリッパの用意、安全な場所の確認など				
<p>■考察</p> <p>(資質・能力に関して) 自分の調べたい情報を集めることに関しては得意だと考えている児童が多い。しかし、自分の課題を設定したり、集めた情報を整理・分析し考えを表現したりすることについては、課題がある。このことは、3年生で初めて総合的な学習の時間が始まり、学習の中で、そのような経験をまだ十分にしていないことが影響していると思われる。</p>				

(学びに関して) 全体的に、自然災害から自分たちの身を守ることについては、まだ自分事としてとらえられていない。しかし、身を守る方法や行動については、今までの防災学習や活動において知ったことについて、よく覚えており、知識としては定着していると言える。一方、そのことを自分の家で話題にしたり、実際に行動に移したりすることについては、十分にできていない児童、家庭が多い。よって、本単元で学んだことや考えたことを「我が家の防災ブック」として作成し、発表会で家族に紹介していくことで、実際の家庭生活や自己の生き方についていけることができるようにしていく必要がある。

3 指導に当たっての留意点

本校の校内研究のテーマは、『状況を的確に捉え、判断し、主体的に行動する児童生徒の育成』である。

【視点1】「状況を的確に捉え、判断し、主体的に行動する力を身に付ける授業の工夫」

手立て1：単元配列表を作成し、各教科横断的な学びになる工夫

- 国語で学習したインタビューの仕方を見学、講話の際に活用したり資料からの引用を使って防災ブックをまとめたりする。また、本単元での学習を生かし、社会科「安全なくらしを守る」での消防署や警察署の災害時対応の仕事などへと学びをつなげ、学習を深める。

手立て2：子供が問いをもち、主体的に学ぼうとするための資料提示や課題設定の工夫

- 単元を通した学習課題を【自然災害から家族を守り隊大作戦】とすることで、自分たちの学習が家族を守ることにつながるといった気持ち高め、主体的な学びが生まれるようにする。また、本単元の学習の系統を児童と一緒に確認することで、3年生での学びが5年生での我が家の防災ブックの完成につながっていくことを意識させ、主体的な学びが今後へ継続していくようにする。
- 課題設定の場面では、身近に起こった令和2年7月豪雨や台風、地震時の様子などを取り上げることで、学習課題につながるような問いが生まれるようにする。
- 家族に自分が作った我が家の防災ブックを紹介して家庭で活用することを目的に作成することで、主体的な学びになるように学習構想を立てる。その際に、自分の住む地域や家庭状況を意識させ、我が家独自の防災ブックを作っていくことを確認し、主体的な学びが生まれるようにする。
- 防災さるくでの被災地域見学や講話、体験学習などの際は、必ず「防災ブックに入れてほしい視点」を聞き、そこから自分の防災ブックに何を書き入れていけばいいのか、自ら判断して、主体的に防災ブックの作成を行っていく。
- 本時では、発表会で自分たちの学びを家族にしっかりと伝え、自分の家庭生活に実際に生かしていくことができる発表にするために、GTや友達に相談したりアドバイスをもらったりして、主体的に活動できるようにする。

手立て3：子供が自らの意思で表現したり、行動したりする場の設定

- 一人学びの時間を確保し自分の考えをもてるようにしたり、自分の課題解決に向けて行動したりする場を設定する。
- 防災ブックの作成を通して学んだ知識を家族へ伝えるために発表会を実施することで、相手意識、目的意識をもって行動することができるようにする。本時では、より具体的な発表にするために、友だちやGTに積極的に尋ねたりアドバイスをもらったりする場を設け、発表内容に生かしていくことができるようにする。
- 実際に防災ブックに書き入れた内容や発表会で紹介した内容を各家庭で実践する期間を設けることで、学んだことが、自分や家族の生活及びこれからの防災行動につながるようにする。

4 本時の学習

(1) 目標 友だちや GT の質問やアドバイスを聞き、より具体的な発表となるように得られた情報を取捨選択したり、関連付けたりしながら発表内容を考えている。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	8分	<p>1 課題をつかむ。</p> <p>①小単元のゴールを確認し、本時の活動を確認する。</p> <p>【めあて】「我が家の防災ブック」発表会のじゅんびをしよう！</p> <p>②教師のモデルを聞き、本時の学習課題を確認する。</p> <p>◇このままでは家族の命は守れなさそう。</p> <p>◇どこに避難するのかちゃんと聞いた方がいいんじゃない。</p>	<p>○小単元のゴールを確かめ、単元計画からめあてを確認する。</p> <p>○教師のモデルを聞き、もっと知りたいことや分からないことをいくつか出させることで、課題意識をもつことができるようにする。</p>
展開	30分	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>①教師のモデル発表に質問したいことや付け加えた方がいいことを考える。</p> <p>◇早めの避難っていつ？</p> <p>◇何をそなえるの？</p> <p>②自分の発表内容の見直しをする。</p> <p>◇どこへ避難するのか付け加えて発表しよう。</p> <p>◇ちょっと分からないから GT に尋ねてみよう。 (共通実践事項 1)</p> <p>③友達と交流する。</p> <p>◇自分が発表する人の家族になったつもりで、質問したりアドバイスしたりしよう。</p> <p>④全体で共有し、まとめを行う。</p> <p>◇あぶない所の写真を見せて、どこが危険なのか知らせることにしました。</p> <p>◇防災バッグの中身を伝えることにしました。 (共通実践事項 2)</p>	<p>○教師のモデルに付け加えた方がいいことをみんなで出し合い、付け加えの視点として捉えやすくする。</p> <p>○どんなことを付け加えるといいか考えが出ない時は、GTに質問やアドバイスをもらい、考えの参考にする。</p> <p>○発表に「いつ」「どこ」「何を」「どのように」などを加えると、より具体的な発表になることをみんなで確認する。</p> <p>○交流の際には、お互いの発表を聞き合い、発表者の家族になったつもりで、分からないこと、もっと知りたいことを聞き合うようにする。</p> <p>○アドバイザーであるGT (今までの活動の講師) に専門的なアドバイスをもらったり、自由に相談したりできるようにする。</p>
		<p>【まとめ】我が家に関係のある (いつ) (どこへ) (何を) (どのように) を付け加えて発表する。</p> <p>【期待される学びの姿】</p> <p>より具体的な発表にするために、自分の発表に足りないものは何か、他に必要なものはなにかなど、積極的にアドバイスを聞いたり、必要な情報を整理、分析して自分の発表内容に生かそうとしたりして活動している。</p>	<p>【具体的評価規準】思考・判断・表現③</p> <p>○友達やGTによる質問やアドバイスなど収集した情報から、発表に必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら、より具体的な発表するために発表内容を考えている。 (方法：ワークシート・発言・行動観察)</p> <p>【到達していない児童への手立て】</p> <p>○机間指導において、「いつ、どこ、何」など考える視点を与え、発表に付け加えられそうな内容を選ぶことができるようにする。</p>
終末	7分	<p>3 学習の振り返りを行う。 (共通実践事項 3)</p> <p>◇どこへ避難するのか付け加えることができ発表が詳しくなってよかった。</p> <p>◇お家の人に早く伝えたい。</p>	<p>○振り返りと発表会の予告をすることで、発表練習への意欲をもたせる。</p>

【板書計画】

「自然さい害から自分たちの身を守るには」		
単元を通した学習課題【家族を守り隊大作戦！】		作戦3「家族につたえたい！」
めあて「我が家の防災ブック」発表会のじゅんびをしよう！		
【学習課題】 家族の命を守ることができる発表にするためには、どんなことをつくくわえたらいいのだろう？		
教師の 発表資料	つけくわえ ・いつ ・どこへ ・何を ・どのように	まとめ ・どこがきけんなのかつけくわえる。 ・ひなんの場所をせつめいする。 ・防災バッグの中身をつたえる。
		ふりかえり

【ICT活用計画】

教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等
○インターネットを活用して、災害から身を守る方法や行動などについての情報を収集する。
○見学や講話、体験したことをまとめる際には、防災ブック（デジタルブック）にまとめていく。
○デジタルブックはタブレットでいつでも見られるようにしたり、学級全体で共有したりする。
○必要に応じて発表内容をスライドで提示する。